

日本語



Songshan  
Cultural and Creative Park

松山文創園區



## 新旧が融合する 松山文創園區(松菸)

松山文創園區の前身は、1937年に建設された「台湾總督府專賣局松山煙草工場」で、後に公売局が引継ぎ「台湾菸酒公売局松山菸廠」と改称され、台湾初の近代的巻きたばこ工場でした。当時はたばこや葉巻が生産され、台湾に莫大な経済効果を生み出しました。その後、需要の減少などにより1998年に生産が中止され、台北菸廠に統合されました。

そして2001年、台北市政府によって第99号市定古跡に指定され、2011年11月15日に松山文創園區として正式に一般公開されました。「台北市のオリジナリティ発信基地」と位置付けられるこの園區は、古跡の活用と再利用に文化クリエイティブ産業の育成を結びつけ、アート・デザイン・ファッションなどのクリエイションを集結させて、台北市の文化クリエイティブ産業の発展における重要なエコシステムを形成しています。

この園區では、「文化資産再活用の実践の場」、「友好的な文化クリエイティブ産業の発展拠点」、「実験的なイノベーション推進の市場検証拠点」、「市民のための文化的生活の場」という4つの主要な柱を掲げ、デザイナーや専門家に産業チェーンを結びつけるリソースを提供し、人々にとって身近なカルチャースポットとなることを目指しています。また、国際的なカルチャー観光スポットとして、台湾の文化クリエイティブ産業により多くの国際的なリソースを繋げる役割も果たしています。

## 松菸の過去と現在

たばこ工場の建設計画では、生産ラインを考慮し、従業員の福祉や要望を取り入れた「工業村」のコンセプトが採用され、当時の工場建設における革新的な事例となりました。松山文創園區には、日本の分離派建築様式のオフィスビル、高い天井と採光性のある長い廊下を持つたばこ工場、1～5号倉庫、ボイラー室などの市定古跡や多くの歴史的建造物が保存されており、豊かで多様な生態環境が残る、歴史と今が融合した場所となっています。

### 市定古跡

#### 1～5号倉庫とベルトコンベア

たばこ工場だった時代には、倉庫は最大で15棟ありましたが、建物の一部が大きく損傷したため、現在残っているのは1号～5号倉庫のみとなっています。1号倉庫は元々完成品の倉庫で、2号～5号倉庫は原料用の倉庫でした。また、輸送の効率を高めるため、2号倉庫の上方には、たばこ工場の2階につながるベルトコンベアが設置され、一貫した生産体制を構築しました。



## オフィスビル

かつては、たばこ工場の社員オフィス及び会議室として使われていた場所で、原木が使われたフローリングや窓枠、特注で取り寄せられた石材を使った壁面が独特で洗練された風格を醸し出しています。



## たばこ工場

たばこ工場は、たばこの生産ラインのある場所で、1階は柱が密に整然と配置された柱廊があり、主にタバコの葉の選別と裁断の部門に使用されていました。2階には、柱廊はなく、巻きたばこの製造と包装部門が使用していました。



## ボイラー室

高さ 36m の煙突を持つボイラー室はかつて、たばこ工場時代に、台北市のランドマークの一つとして知られ、重油をボイラー室で燃やしてたばこ工場の機械を動かしていました。現在では、台北 101 と向かい合い、昔と今のランドマークが呼応する象徴的な景観となっています。



## 歴史的建造物

### 検査室

検査室はかつてたばこ工場の警備室として使用されたのが始まりで、戦後、たばこの価格が高騰したため、従業員は出勤・退勤時に、たばこを隠し持っていないかチェックするために、必ずこの検査室で検査を受ける必要がありました。



### 機械修理工場

たばこ工場内には、年間 20 億本ものたばこを生産していたため、30 台のフィルターレスのたばこ製造機があり、機械が故障した際には、この機械修理工場で修理していました。



### 託児室

託児室は戦後に建てられたもので、もともとはたばこ工場の南側にありましたが、台北ドームの建設に伴い、現在の場所に移されました。たばこ工場時代の託児室は保育所のような機能を持っており、従業員は子供をここに連れて来て、保育士に世話をしてもらっていました。



## 特色のある建築

---

### バロック式花園—晩香園

ここは1958年、工場長の陳履坦が台北酒廠の技士である林元朗に設計を依頼して造られました。全体は幾何学的なデザインが採用され、東洋と西洋の文化が融合されたものとなっています。また、中には珍しい三層のシャンパンタワー式の噴水が設置され、防火用貯水の機能も兼ね備えていました。



### 生態景観の池

この大きな人工貯水池は、たばこ工場時代には消防用として使用されましたが、今では、周囲にたくさんの保護植物が生息し、カエルや虫の鳴き声が聞こえ、景観や生態系を楽しむ池に生まれ変わっています。また、台北でも珍しい都市の真ん中にある水場のため、台北東部エリアの「緑の宝石」と称されています。



### 多目的展示ホール

このホールは、たばこ工場時代には、従業員の食事や集会用の講堂として使用され、時には公売局が管轄するバスケットボールチームの練習用コートとしても使われていました。



## 年間イベント

---

松山文創園區は台北市の中心部に位置し、周囲に新しい建物が立ち並び、古跡・生態系・文化を3大テーマに掲げ、毎年「松山文創学園祭」、「松菸サマーフェスティバル」、「松菸ランドフェスティバル」を開催しています。これは松山文創園區のコンセプトを全面に打ち出し、若手のアーティストをサポートするもので、このようなイベントを通じて「ソフトパワー革命」、「SNSで繋ぐ」、「ブランド価値の構築」、「マンパワーの育成」といった4つの角度から、「台北市のオリジナリティ発信基地」としての役割を果たし、独創的な人材と想像力を育成します。また、台湾の重要な創作拠点として、人々がアートやデザインと繋がり、無限のクリエイティブな体験ができる国際的なクリエイティブコロニーを目指しています。

## 松山文創学園祭

---

松山文創学園祭は、毎年50校以上の大学や専門学校などが参加する、台湾で最も大規模な学生による卒展の一つです。この学園祭では、6つの主要テーマを週替わりで展示し、学生が学校や学部を超えた相互に学ぶ合う交流の場となっています。



## 松菸サマーフェスティバル

松山文創園區では、2022年に初めてこの「松菸サマーフェスティバル」という音楽、パフォーマンス、バザール、アート、グルメを通して、皆様に夜間の古跡を楽しんでもらうイベントを開催しました。ぜひこのイベントで、夏の夜風を感じながら、多彩なコンテンツを楽しんでもらいます。

# 夏日松一下

SongYan Summer Festival

## 松菸ランドフェスティバル

松菸ランドフェスティバルは、文化財の保存と再利用の場としての松菸を前面に押し出し、メインテーマに沿って、毎年様々なアーティストがクリエイションの発表やライブパフォーマンス等を行っています。

既に、2012年の初開催以来、100組以上のオリジナル作品が展示されてきました。また、2019年からは屋外でのライブ創作も始まり、2023年以降は3年ごとのキュレーション形式が導入されました。これにより、アート&クリエイションを通じて、松菸の物語を語り継ぎ、古跡の空間の活性化を図っています。



## 松菸生態系ガイド

この園区には、古い建物だけでなく、貴重な緑地や古い樹木、植物群落が保存されており、台北市の生態系を知るきっかけとなる役割を静かに果たしています。ここでは、園区内の各所に設置された植物ガイドの看板を読んだり、静かに耳を傾けて鳥のさえずりや虫の鳴き声を楽しみながら、松山文創園區の生態系を散策することができます。



## 来場案内

### 営業時間

屋内エリア 08:00 - 22:00

屋外エリア 24 時間開放

(各展示エリアによって異なる場合があります)

### 園区お問い合わせ先

住所：台北市信義区光復南路 133 号

電話：02-2765-1388

カスタマーサービス E-Mail：tcicss@taipeiculture.org

### 週末定期ガイドツアー

ツアー時間：毎週土、日 10:00、13:30、16:00

所要時間：約 30 分

注意事項：

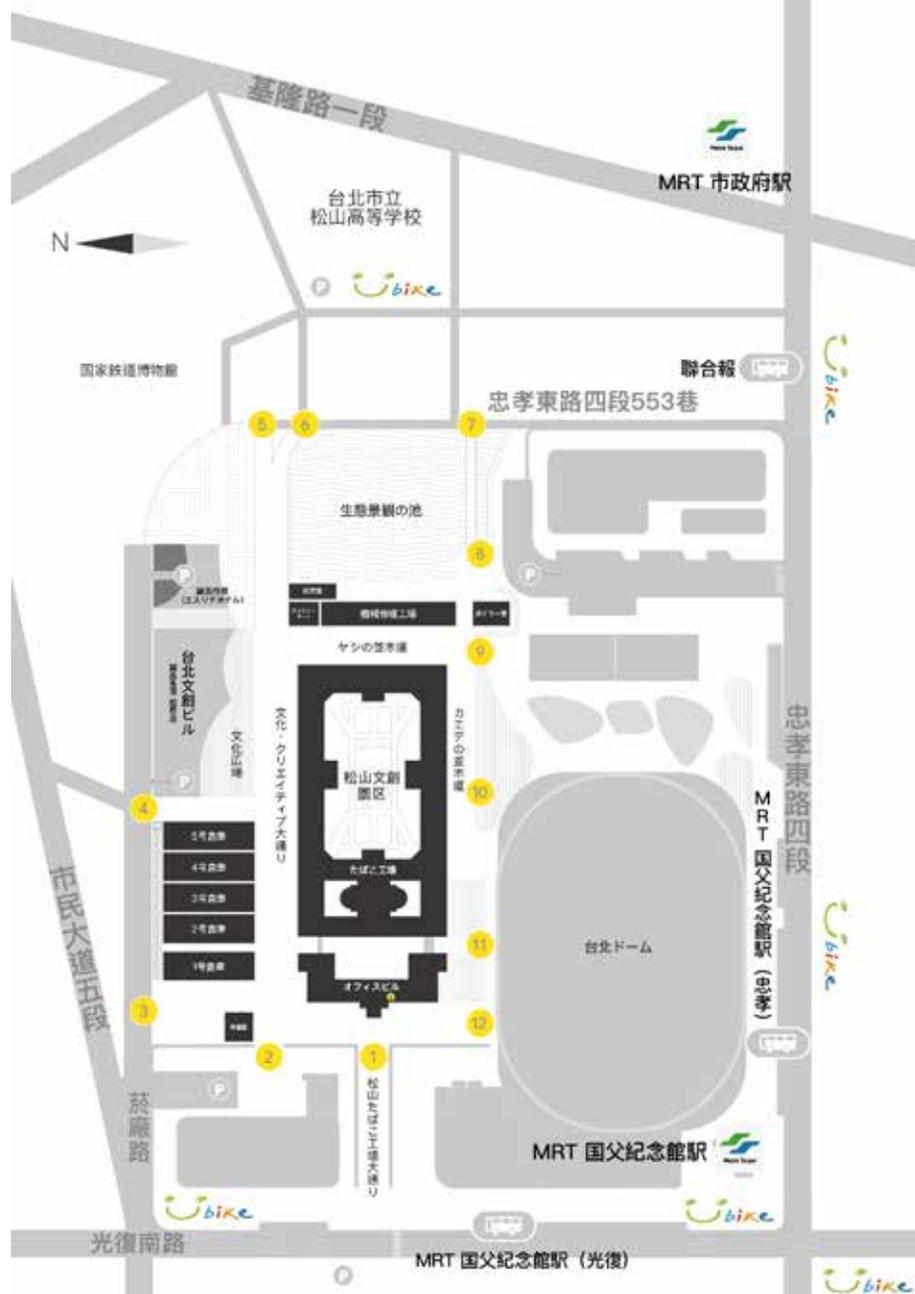
1. 事前申し込みは不要です。当日「サービスセンター」にて無料で登録してご参加いただけます。
2. 当日の参加者が 6 人未満の場合、ガイドツアーは中止となります。
3. 詳細は「サービスセンター」の現地案内をご覧ください。

### 団体ガイドツアー

ガイドツアーの内容は、文学&歴史、産業&学術、生態系の 3 つのカテゴリーに分かれ、各ツアーで最低 15 人以上のお申込みが必要です。予約に関する詳しい情報は松山文創園区の公式 HP をご覧ください。



イベント



# 松山文創園區 マップ

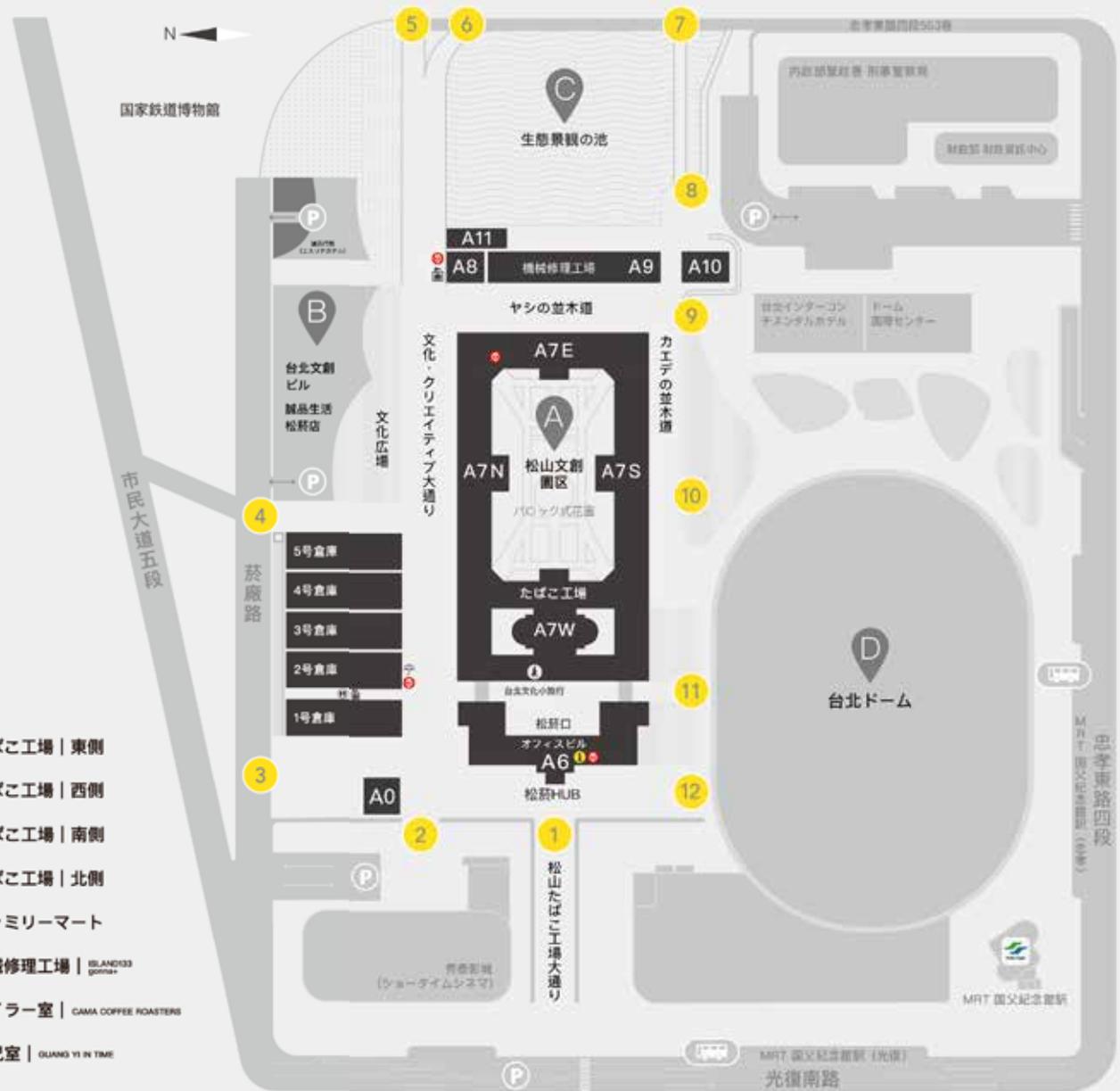
- N** 園区入口
- A** 松山文創園区
- B** 台北文創ビル
- C** 生態景觀の池
- D** 台北ドーム

- |                  |   |
|------------------|---|
| <b>A0</b> 検査室    | <b>A7 E</b> たばこ工場   東側                  |
| <b>A1</b> 1号倉庫   | <b>A7 W</b> たばこ工場   西側                  |
| <b>A2</b> 2号倉庫   | <b>A7 S</b> たばこ工場   南側                  |
| <b>A3</b> 3号倉庫   | <b>A7 N</b> たばこ工場   北側                  |
| <b>A4</b> 4号倉庫   | <b>A8</b> ファミリーマート                      |
| <b>A5</b> 5号倉庫   | <b>A9</b> 機械修理工場   ISLAND133 goma**     |
| <b>A6</b> オフィスビル | <b>A10</b> ボイラー室   CAMA COFFEE ROASTERS |
|                  | <b>A11</b> 託児室   GUANO YI IN TIME       |

**i** サービスセンター  傘のシェアリングサービスraingo

 お食事・カフェ  AED  コインロッカー  お手洗い

 台北文化小旅行  
(松山たばこ工場の「工場めぐり」石碑)



1F

ヤシの並木道

**A7 E** たばこ工場 | 東側

- E101 小智研究垃圾廚房 (Miniwiz Trash Kitchen)
- E103 松菸風格店家

**A7 W** たばこ工場 | 西側

- W101-103 台湾デザイン館
- W107.115
- W104 不只是圖書館 (Not Just Library)
- W108 谷口写真企画室
- W109 以覽学 (INTZUMON)
- W110 TAIWANIZE
- W111 芸巷空間 | 旧医務室
- W113 炊事場 | eyecandle
- W116 男性用浴場

**A7 S** たばこ工場 | 南側

- S101 芸巷空間
- S102 原桑好市 - 原住民族セレクトショップ
- S103 芸異空間
- S104 南側 たばこ工場

**A7 N** たばこ工場 | 北側

- N101 北側 たばこ工場

**A6**  
オフィスビル**A6** オフィスビル

- O102 台湾デザインミュージアムチケット売り場
- O103-104 DESIGN PIN(デザイン・ピン)
- O110 松菸HUB 松山文創園區サービスセンター
- O108 hof (EVERYDAY OBJECT)
- O109 松菸HUB オフィスビル 創意空間

2F

ヤシの並木道

**A7 E** たばこ工場 | 東側

- E201 芸巷空間
- E202 文創交流中心
- E203 XR PLAYHOUSE

**A7 W** たばこ工場 | 西側

- W204-206 多目的展示ホール
- W207 ifデザインサロン台北 / 芸符設計
- W210 松山文創園區 運営センター  
西側会議室

**A7 S** たばこ工場 | 南側

- S201 台湾デザイン連盟(TdA)
- S203 松菸クリエイティブハブ

**A7 N** たばこ工場 | 北側

- N201 台湾デザイン研究院 サービスカウンター
- N202 台湾デザイン研究院 創意劇場

**A6**  
オフィスビル**A6** オフィスビル 2F

- O202 松山文創園區 運営センター 202会議室
- O203 台湾デザイン研究院 201会議室
- O204 台湾デザイン研究院 202会議室
- O205 松山文創園區 運営センター 201会議室
- O206-207 台北市文化基金会  
松山文創園區 運営センター
- O302 松山文創園區 運営センター 301会議室

サービスセンター 音声ガイド お食事・カフェ AED コインロッカー 傘のシェアリングサービスraingo

お手洗い ジェンダーレストイレ お手洗い男性用 お手洗い女性用 バリアフリートイレ 授乳室

階段 貨物用エレベーター バリアフリーエレベーター

台北文化小旅行  
「松山文創園區の工場めぐり」

